

株式会社クレディセゾン(8253) 2007年度決算発表

**連結営業収益 3,455 億円(前比 103%)、当期純利益 267 億円(前比 180%)**

～ 好調なファイナンス事業・不動産関連事業が収益牽引 ～

クレディセゾンの 2007 年度連結決算は、営業収益:3,455 億円(前年同期比 103.6%)、経常利益:581 億円(同 72.5%)、当期純利益:267 億円(同 180.5%)となりました。

クレジットサービス事業(営業収益:2,547 億円 前比 99.6%)においては、カードショッピング取扱高及びショッピングリボ残高は順調に推移し、プロセッシング受託ビジネスの新規案件やジェーピーエヌ債権回収(株)のサービサービジネスが収益貢献しましたが、キャッシング金利引下げによる減収に加え、キャッシング取扱高の伸び悩み、さらに利息返還請求への対応による貸倒コストの大幅増加(743 億円 前比 123.0%)というマイナス要因があり、事業収益は前年を割り込む結果となりました。

一方、信用保証ビジネスおよび不動産担保融資ビジネスが好調なファイナンス事業(営業収益:443 億円 前比 118.8%)や、(株)アトリウムを中核としたグループ企業の業績が好調に推移した不動産関連事業(営業収益:379 億円 前比 136.4%)が前年を大きく上回る高収益をあげ、連結収益を牽引する役目を果たしました。

エンタテインメント事業(営業収益:143 億円 前比 85.1%)については、法規制や顧客ニーズの変化に対応した設備投資の増加などにより減益となりました。

なお 2008 年度の連結業績予想は、営業収益:3,630 億円(前年同期比 105.0%)、経常利益:620 億円(同 106.7%)、純利益:270 億円(同 100.9%)としています。

#### ■単体の業績

- (1)新規カード開拓数：**338 万枚**(前比 79%) (2)新規カード発行数：**284 万枚**(前比 78%)
- (3)カード会員総数：**2,601 万人**(年間純増 110 万人)
- (4)稼働会員数：**1,322 万人**(年間純増数 73 万人)
- (5)カードショッピング取扱高：**3 兆 7,585 億円**(前比 109.5%)
- (6)カードショッピングリボ残高：**2,636 億円**(前期末比 110.1%)
- (7)カードキャッシング残高：**5,918 億円**(前期末比 101.1%) 流動化債権含む
- (8)営業収益：**2,777 億円**(前比 102.8%) (9)経常利益：**365 億円**(前比 64.6%)
- (10)当期純利益：**245 億円**(前比 240.5%)

2007 年度は、カードショッピング取扱拡大に伴うポイントコスト・支払手数料・通信費等の増加のほか、過払い利息返還請求に起因した貸倒コストが大幅増加しましたが、収益性を重視した営業政策を展開し、カード開拓費や販促費を大胆に削減するなどコスト構造の見直しを図った結果、単体の販売管理費は 2,238 億円と前比 109.6%に抑えることができました。

以上